



「53年の歴史に感謝の気持ちをもって」

国分北小学校 川野 浩明

令和7年7月17日(木)をもって、国分北小の給食室が終了することになりました。今後は、青葉小の給食室から給食が配送されることとなります。沿革史を見てみると、国分北小の給食室ができたのは、昭和47年4月からです。ということは、この給食室で、53年以上給食を作り続けていたということになります。

今いる子供たちのお父さん、お母さんがまだ子供だったころも、この給食室で作られた給食を食べていたと思います。もしかしたら、おじいちゃん・おばあちゃんが子供のころ、北小の給食を食べたことがあるという人もいるかもしれません。

それだけ長い間、毎日欠かさず、安心でおいしい給食を作ってくださった給食調理員さんたちの苦労は、とても大変だったと思います。

学校給食は、みんなが同じものを食べるので、もし食中毒が発生すると、一度にたくさんの子供の命を危険にさらすこととなります。給食室ではとても厳しいルールの「学校給食衛生管理基準」に従って調理や提供を行っています。



【子供たちから感謝の花束贈呈】

「清潔・温度・時間」の管理が徹底されていて、実は、工場レベルの衛生管理が行われています。野菜などは、3回洗ってチェックしています。子供たちの安全を守るため、一般の飲食店よりもかなり厳しい水準といえるほどです。

また、みなさんご存じでしょうか。給食を作る調理員さんたちは、給食に菌が混入しないようにするために、生卵やカキ、生ものなど、普段から避けなければならない食べものがあります。調理員の方々は、「卵かけご飯などは食べたことがない。」とおっしゃっていました。安全・安心の給食のために、調理員さんたちは、いろいろな制限がある中で作っているのです。

2学期からは、青葉小から配送されます。青葉小の施設は新しいのでさらに、安心して食べることができると思います。給食を毎日おいしく食べられることに感謝して好き嫌いせず、しっかり食べてほしいものです。